

竹内まりや自作を語る

平成 24 年 6 月 18 日 中野希也

2008 年のファン投票で 2 位になった「人生の扉」は 2 枚組のアルバム「デニム」(2007)に入っている。通常 2 枚目は、録音風景とか歌手へのインタビューの DVD であるが、「Vintage Denim Mariya Takeuchi」と題する CD でセルフカバーと未収録曲の 6 曲が収められている。ライナーノーツに、まりや自身がそれぞれの曲への思いを語っている。

1 トライアングル (1984)

「三角関係をテーマにした薬師丸ひろ子さんへの提供曲のセルフカバーにピーター・ポール&マリー調のハーモニーをつけることにした所までは良かったのですが、達郎と二人で顔を見合わせながら「女の子はずるいものね」というコーラスを歌うたびに、どうしても吹き出してしまっただけで録れないため、目を閉じながらなんとか歌いきったのを覚えています。」



♪ときめいてる喜びより あなたの悲しみが  
胸の中で邪魔しては こぼれ落ちる涙 だけど女の子はずるいものね  
最後の最後には 友達より恋を選ぶ 変わり身のはやさ  
ああ 今度だけは なぐさめの 言葉さえ見つからない  
なんて皮肉 私達同じ人を愛してたの♪

2 夜景 (1984)

「これはもともと「ヴァラエティ」でレコーディングをしたものの、アルバムに入れるのを断念した楽曲でした。なぜか私の周りの業界人にこの曲のファンは多く、その反響がのちに私に「駅」や「シングル・アゲイン」などのマイナーコードの歌を書かせるきっかけとなりました。」

♪予約なしの恋は 突然終わるもの さり気なく打つピリオドは涙  
うしろめたさひとつ ひきずらず上手にきつと 忘れる約束するわ

顔合わせる前に ここを出て行くこと 責めないでね大人と大人なら  
見慣れた街並みにいつしか溶け込む私は あなたの知らない人に戻るの Ah  
愛しているだけでは 幸せになれないのね Ah  
愛されてるだけでは 幸せになれないのね♪

### 3 Hey! Baby (1985)

「子育て真っ最中のある日、私のデビュー曲「戻っておいで・私の時間」（1978）の作曲者である加藤和彦さんから電話をもらい、彼がプロデュースする森下恵里さんという新人シンガーへの作曲依頼を受けて書いたこの曲と「真冬のデート」は60年代のガールポップ・サウンドを目指して作った典型的なティーンエイジ・ラブソング。ドライブ感溢れる達郎のアレンジが効いています。」

♪星座はリブラ（天秤座） すこし気まぐれ  
恋に手慣れてる Playboy だけど一度は 声かけられて  
優しく 口説かれてみたい  
Hey! こんなにも Baby Hey! 好きなのよ Baby  
Hey! その瞳 Baby Hey! 憧れているの Wo Wo, my baby  
Hey! 私を愛して♪

### 4 真冬のデート (1985)

「'72年に留学していたイリノイ州の田舎町には、郊外の農場に大きな池があり、真冬になるとそれが凍って天然のスケートリンクになっていました。友達のベンチシートの車でよく出かけて滑っては、熱いココアを飲んだりしたものです。そんな冬の日の情景を思い浮かべながら、私の定番とも言える8分の6拍子のロックバラードに仕上げた1曲。」

♪ひと気ないリンクで滑る あなたの優しい笑顔が  
両手にはさんだ ココアの湯気で 白くかすんでいる  
息はずませて 近づくあなたは いきなり私を見つめ  
真冬の空の下 キスした唇が 凍えて ちょっぴり冷たい  
このままずっと 雪に埋もれてしまうまで 抱きしめて♪

### 5 約束 (1986)

「中森明菜さんのアルバム「クリームゾン」に提供した中の1曲。歌い方は彼女の方がずっと大人っぽい雰囲気があるような気がします。別れた男性に電話する女性の未練心をテーマに書いたこの曲に対して、'90年の「告白」では逆に、別れた女性に電話をかけてくる男性の未練を表しました。本当はいったいどっちの方が未練がましいのかな（笑）？」

♪よりを戻す気もないのに あなたを惑わす 私を許して  
過ぎた日々を振り返れば 楽しかったことだけ 思い出すの  
今の彼を愛しているのに 時々哀しくなるのはどうしてかしら  
皮肉なものね 二度と会わないと 決めたあなたが  
気にかかるのよ こんな夜更けは♪

「告白」の歌詞をみよう。

♪Why? 強いあなたが 寂しさに負けるなんて  
Lie! 人恋しさは 年をとったしるしでしょ  
Ah, 無邪気になれない 出会った昔のように  
受話器置いて せつなさに泣き崩れた  
女心はいつも言葉と 裏はらな企み隠してる  
どんなに遅すぎても告白 待ちわびて生きているの♪



6 ミラクル・ラブ (1991)

「達郎の『クリスマス・イブ』のヒットを生んだCMに出演していた、10代のあどけない牧瀬里穂さん。彼女が歌手デビューするにあたって提供したこの曲は、私が好んで歌詞にする『近すぎて気づかなかった愛』がテーマです。」



♪こんな近くにいたのにどうして 気づかなかったの  
今まで私 ないものねだりの 恋人探しは  
これでおしまいね あなたがいるから  
昨日とまるで違う二人に 女神さえ苦笑いしてる  
目と目が合ったら Miracle 運命の不思議な兆し  
こうしてたどりついたのは奇跡 赤い糸で結ばれてたの♪

前回の記事を出稿したあと「駅」(1986)を数回聴きあらたに気がついたことが2箇所ある。

いま一度歌詞をおさらいしよう。

“見覚えのあるレインコート”の“昔愛してた あの人”を“黄昏の駅”で見た。

♪ひとつ隣の車両に乗り うつむく横顔 見ていたら  
思わず涙 あふれてきそう 今になってあなたの気持ち  
初めてわかるの 痛いほど 私だけ 愛してたことも (注1)

ラッシュの人波にのまれて 消えてゆく 後姿が  
やけに哀しく 心に残る 改札口を出る頃には  
雨もやみかけた この街に ありふれた夜がやって来る  
La La La…… (注2) ♪

注1

私は迂闊にも「愛してたことを」と聴いていたが「愛してたことも」なのだ。「付き合っていた頃は、ちょっとした言葉で傷ついたり何気ない仕種で気まづくなることが重なり、二人は別れた。2年経った今振り返ると、あなたは少しも悪くなかったわ。ただ私が誤解していたの。あなたの優しい思いやりや親切な気持ちがわからなかったの、あのときは。今になって初めてわかるの、あのときに気づかなかったことが。そして私だけ愛してたことも」と読むべきだろう。

注2

まりやの書いた歌詞はわずか3文字 La La La、fade-outのように書かれているが明菜はこう歌った。

ラララ ラララララララ ララララ ララララ ラララララ  
ララララララ ラララララララ ララララララ ララララララ  
ララララ ララララ ラララララ ラララララ ララララララララ

最後のパートは嗚咽で聴きとれない。

果たして彼女は、彼の“消えてゆく 後姿”を見たあと、座席に残り過去の二人の時間をプレイバックしているのでしょうか。私は翻然と気がついた。何故こんなにもラララが長いのか。歌詞で6行分もある。彼女は慌てて発車寸前の電車から飛び降り改札口を出て彼を追いかけたのに違いない。自分の気持ちがわかった瞬間。彼に追いつき声をかけたのであろうか。それとも…。30秒も続くラララに彼女はどんな物語を紡いだのだろうか。

「駅」で特筆すべきは多くの歌手がカバーしていることである。

男性歌手では

徳永英明（2005）、中西保志（2007）、甲斐よしひろ（2008）、布施明（2009）

バラード畑ならともかく、ロックミュージシャンには驚きを隠せない。

女性群では

J-Popsの中澤ゆう子（1998）、森山良子（2008）、松たか子（2008）、大橋純子（2009）

さらに演歌界三名花の伍代夏子（1994）、石川さゆり（2006）、藤あや子（2011）



これらの歌手に尋ねてみたい。同じ歌詞でも歌手の心情の数だけ歌が存在するからである。

『今になってあなたの気持ち 初めてわかるの 痛いほど  
私だけ 愛してたことも』を、どう解釈しましたか、  
どう唄いましたか？

「私だけが彼を愛してた」それとも「彼は私だけを愛してた」と。